

平成30年度 学校評価報告書

島根県立松江工業高等学校

| | |
|------|-----------------|
| 重点目標 | (1) 人権尊重教育の推進 |
| | (2) 規律ある生活態度の育成 |
| | (3) 基礎学力の向上 |
| | (4) キャリア教育の推進 |
| | (5) 部活動の推進 |

| | | | |
|-------|---|-------|---------|
| 4段階評価 | A | ほぼ出来た | 3.2 以上 |
| | B | 概ね出来た | 2.6~3.2 |
| | C | やや不十分 | 2.0~2.6 |
| | D | 不十分 | 2.0 未満 |

アンケート調査結果(数値1~4で回答)の平均値による区分 ※0:わからないは除く (4:よく出来ている 3:大体出来ている 2:あまり出来ていない 1:出来ていない 0:わからない)

| 教育目標 | 本年度の目標 | 担当分掌 | 学校評価質問項目 | 教職員評価 | 生徒評価 | 保護者評価 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | 改善策 |
|---|-----------------------------|------|---|----------|----------|----------|----------|--|--|----------|---|
| | | | | | | | 評価(昨年) | 結果概評 | コメント | 評価(昨年) | |
| (一) すぐれた知性 (二) 高い品性 (三) 健康な身体 次世代を担う社会に有為な形成者として、人権を尊重し人類の平和と発展に寄与できるすぐれた資質を養うため、次の三つを掲げる。 | 基礎学力の向上 (わかる授業・家庭学習奨励) | 教務 | 補習授業や指導方法の改善を図る。 課題等の提出期限厳守家庭学習の習慣化を図る。 | B 2.9 | B 2.9 | B 2.9 | B (B) | 朝学習や定期試験前の放課後学習を学校全体で実施し、学習習慣の定着をはかった。家庭学習の習慣を身に付けさせる必要がある。マナトし実施や基礎学力テストによる学び直しや基礎学力の向上に努めた。ICT機器が整備された。活用することで授業改善を進める。進学希望者への組織的指導による学力向上に工夫の余地がある。 | 学ぶことの喜びを感じることは難しいが重要なことを知って欲しい。朝学習や放課後学習などの学習習慣を身につけさせる取り組みは大変良いこと。社会に出て基礎学力は重要である。 | B (B) | 朝学習では、信組指導部や図書研修部と連携し、昨年度から実施予定の「高校生のための学びの基礎診断」に向けての学習や「朝読書(図書部)」を実施し、基礎学力の向上と学ぶ意欲の向上を目指す。ICT機器が整備され、多くの教員が活用している。今後はICT機器の活用範囲の工夫改善をしていきたい。 |
| | キャリア教育の推進 (職業理解、進路・資格指導) | 進路 | 「進路だより」等による地元企業の情報提供や個別面談・三者面談の充実を図る。 資格・検定情報を提供し、取得のための指導を積極的に行う。 | A 3.2 | B 3.1 | A 3.2 | B (B) | 進路ガイダンスや職業講話、地元企業見学等様々な体験学習を通して進路意識の高揚ができた。資格試験・検定の指導について各学科共に熱心に指導を行った。学級通信の発行回数や保護者面談の実施回数については、クラス単位でばらつきがある。保護者への情報提供を充実させる。 | 進路の諸日程を把握しておられない保護者もあると思われる。辛抱強く指導されたい。振り返りシートの活用は良い試みと評価する。資格や検定試験へ挑戦が良い目標となっていることがうかがえる。 | B (B) | 進路ガイダンスや外部人材を活用した講話を充実させ、進路意識を高める。進路先開拓や継続を進め、進路実現につなげる。学校ホームページや進路便り、学級通信などで情報提供を充実させ、進路の諸日程や学校の様子などをわかりやすいものにしていきたい。 |
| | 規律ある生活態度の定着 | 生徒 | 学校生活生活における礼節とマナーの定着を図る。 積極的な挨拶の定着を図る。 | A 3.2 | B 3.1 | A 3.2 | A (A) | 日常的な指導の継続により、挨拶の定着やマナーを身につけることが出来るようになった。生徒の自己評価も高い。遅刻や欠席も少なく皆勤者が多い。将来、社会人となる生徒が多い本校の場合、マナー指導を充実させる必要がある。学校いじめ防止基本方針の不断の改善といじめ早期発見と対応に引き続き努める。 | 学校に来校するたび明るい声で挨拶があり、うれしい気持ちになる。学校の悪い評判は聞かない。生徒も以前よりおとなしくなっているが、同時に意欲が低下していないか心配。社会に出てから行儀が良いだけでは通用しない。 | A (B) | 挨拶や礼節指導は引き続き継続する。服装頭髪検査は社会人となるため必要なものとして引き続き改善をはかる。学校のいじめ問題対策について、担任、各科、係の連携や情報交換を密にし、未然防止に努める。教育相談委員会を定例化する。 |
| | ボランティア・地域交流の推進 | | ボランティア活動や地域交流活動への参加を図る。 | B 2.9 | C 2.1 | B 3.0 | B (B) | 学校単位では地域の保育園等での読みきかせや古志原ボランティアとの交流、公民館への協力、吹奏楽部の訪問演奏等を行い、秋にはPTA共催で生徒と共に学校周辺清掃も行っているが、生徒本人にもボランティアをしているという意識が低く、自己評価が低い。一部学校や団体が取り組みを声高にメディアに報じているが、ボランティアというものの本質にはあわない。それとせず自然に取り組んでいる生徒たちの意識の方が立派な態度であると感じる。 | ボランティア活動や地域活動への参加が一部生徒に偏っているかもしれないが、全体としても地域での活動を頑張っていると評価する。 | A (A) | 地域の公民館との交流を継続し、生徒の地域交流の意識を高める。また、ボランティア活動への意識を高める。 |
| | 部活動の推進 | | 部活動を奨励し、健全な心身の育成を図る。 | A 3.3 | B 3.1 | B 3.1 | B (B) | それぞれの部活動で、活性化が図られ、成果を上げている。保護者との連携が必要である。 | 結果はもちろん、目標を持って努力することが大切。日々の努力が大切である。 | B (B) | 顧問・生徒・保護者間で連絡を密にし、共通理解をはかって活動する。部活動の活動方針や年間活動計画をHPに掲載する。 |
| | 人権尊重教育の推進 | 人権 | 校内研修等で得た情報や知識を常に心がけ、人権に配慮した発言・指導を行う。 | B 3.1 | B 2.8 | B 2.7 | B (B) | 学校いじめ防止基本方針を不断に見直し、いじめの早期発見と対応に努める。教職員・生徒共にさらなる人権意識を向上させることが必要である。 | いじめのトラブルに学校は良く対応していると思う。評価アンケートで「わからない」が多いのが気になる。 | B (B) | 人権教育に関するホームルームの年間計画を見直し、内容を充実させる。また、教職員研修の内容を、生徒を取り巻く環境が多様化している現状に対応したものに更新する。いじめの早期発見と対応に努める。 |
| | 教育環境の整備 | 保健 | 校舎内の清掃等、環境整備が十分に行われている。 | B 3.1 | B 3.1 | A 3.3 | B (A) | 素晴らしい教育施設が、清掃活動や保守点検により維持されている。生徒の清掃への意識は高く5Sが浸透している。引き続き良好な教育環境の維持に努めたい。 | 校舎の清掃や維持管理はよく行われていると評価する。ごみの分別は家庭でも苦労していること。 | A (A) | 教室の定期的なワックスがけや安全点検、環境検査などにより教育環境を維持する。日頃の清掃を大切に、校舎の美化に努める。 |
| | 保護者等との連携 | 総務 | HP・広報活動が十分に行われている。 生徒の現状について保護者と連絡を密にし連携を図る。 | A 3.3 | | | B (B) | 中学生・保護者対象の専門高校説明会、中学校教員対象の高校説明会、一日体験入学を実施した。改善を進めたい。HPでの情報発信も継続した。公開授業については参加者数が増加せず実施方法等の改善が必要である。 | 近年工業高校への認識が良くなっている。関係者の辛抱強いご努力の結果であると思います。体験入学や説明会などぜひ継続していただきたい。 | A (A) | 専門高校説明会を引き続き実施し、直接保護者に説明できる場で学校PRを行う。PRに使用する資料を専門科、共通教科の教員と協議しより魅力的なものにしていきたい。学校ホームページをリアルタイムに更新し、情報を発信する。各科のページを充実させる。 |